

2017年8月

## 若者会議 中部公園の活用グループ 活動報告

### 東員町若者会議中部公園の活用グループ

#### 企画の背景と目的

東員町中部公園（以下、中部公園）は東員町の大きな魅力となる大切な地域資源です。現在中部公園は子育て世代を中心とした大型遊具や芝生広場の利用、また、シニア世代を中心としたパークゴルフの利用が多いのではないかと認識しています。

ここに付加価値を向上する取り組みとして、最近では観光振興会によるTOINマルシェや飲食の提供など「稼ぐ」ための取り組み等が進められています。

私たち東員町若者会議も、中部公園を活用して東員町の魅力を向上できればと思い「稼ぐ」「健康」「活躍」をキーワードに事業の企画を進めています。

私たちが企画している「こんにち wa cafe」は、主に「遊びの広場」に来園する子育て世代を対象に、その周辺で飲食を提供すれば、中部公園の魅力向上に繋がるのではないかと考え、小規模ではありますが、はじめの一步の事業として実施しました。

今回の取り組みでは、中部公園の潜在能力の引き出しや付加価値の創出といった、これからの中部公園の魅力向上を検討する上で、いくつかの調査も兼ねて実施しました。

このため6月10日（土）、11日（日）は、大型遊具周辺の「遊びの広場」周辺での出店、7月2日（日）は管理棟周辺での出店を行い、安全面、店の利用状況、ごみの管理状況についての比較なども行いました。

## 1 出店に当たってのアンケート調査

2017年4月2日（日）に東員町中部公園の遊びの広場周辺にて、物販の可能性を探るべく、出店カフェ（飲食物の販売）利用に対してニーズがあるかアンケートを実施したところ、約9割の方が「是非利用したい」、「利用したい」との回答でありました（図1）。我々東員町若者会議メンバーはそのニーズに応えるべく、出店カフェを臨時営業したいと思いました。

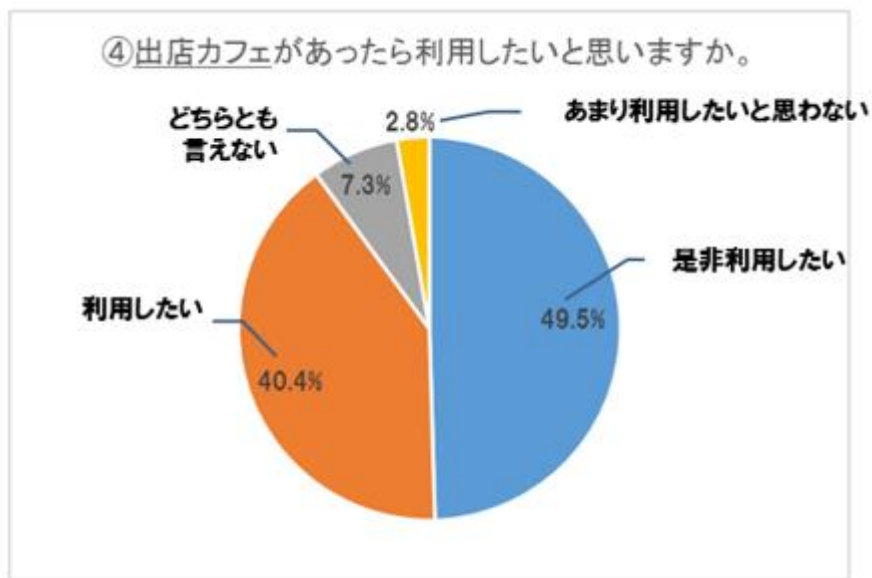


図1 出店カフェニーズ調査結果（n=109）

※ 出店カフェとは「こんにちは wa cafe」の臨時営業スタイルのことを指します。

## 2 こんにちは wa cafe 内容

### 1) 取扱い品目

アイスコーヒー, みかんジュース, りんごジュース, グレープジュース,  
猪名部ジンジャーエール, かき氷 (イチゴ, りんご, ピーチ)

### 2) 使用設備

手動かき氷器, クーラーボックス ※ 電気器具類は使用しませんでした。

### 3) 臨時営業施設

保健所の指導 (営業許可) の下, 衛生面が管理されたレイアウト

### 4) 日時

- 6月10日 (土), 11日 (日) は遊びの広場周辺で臨時営業による出店



- 7月2日 (日) は管理棟周辺での臨時営業による出店



※ 2m×2m のタープテント2張を中心とし, 周辺に装飾を施したレイアウトで臨時営業しました。

### 3 保健所への臨時営業許可申請

三重県桑名保健所に6月10（土）、11日（日）の臨時営業に対する営業許可を6月2日（金）に取得。

7月2日（日）の臨時営業に対する営業許可を6月23日（金）に取得。

### 4 調査のまとめ

#### 1) 比較

「遊びの広場周辺」での臨時営業と「管理棟周辺」での臨時営業とのメリット、デメリットを表1に示します。

表1 「遊びの広場周辺」と「管理棟周辺」のメリット、デメリット

	「遊びの広場周辺」	「管理棟周辺」
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・大型遊具との一体感があり、一層賑わっている印象を与える。</li><li>・大型遊具目当てで訪れる来園者の目には必ず触れる。</li><li>・注文してからの待ち時間において、子どもであれば遊具で遊ぶことができ、待ち時間を有意義に過ごせる環境である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・管理棟により多少なりとも風が遮られ、風の影響を受けにくい。</li><li>・管理棟に近い。</li><li>・タープの設営がアスファルトの上ということもあり、芝を傷める心配はない。</li></ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・風を遮るものが少なく、風の影響を受けやすい。</li><li>・管理棟から比較的距離がある。</li><li>・出店したスペースでテントなどを設営して休憩しようと予定していた方には迷惑となる。</li><li>・橋を渡った左のスペースは道沿いにガードレールがあり、そのスペースへの唯一の出入口が出店によって塞がれる。</li><li>・タープの設営が芝生の上ということもあり、芝を傷めてしまう。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・遊びの広場を利用している来園者にとっては気づきにくい。</li><li>・遊びの広場と比較し、注文してからの待ち時間において、子どもは時間を持て余す可能性がある。</li></ul>

## 2) 今回の取り組みから得た中部公園全体の考察など

●中部公園全体を見て日光を遮ることのできる箇所が少なく、自動販売機の設置台数も公園の広さを鑑みた際には少ないため水分を補給するには十分とは言えず、暑さに対する安全面を考慮した際、対策が不十分であるとの印象を受けました。

●急な大雨や雷に対して避難できる建屋などがあれば望ましいと考えられます。黒い雲が空全体に認められた際、管理棟の管理者が雷への懸念について園内にアナウンス（放送）していました。個人の裁量による対応であるかは不明ですが、とても素晴らしい対応であったと思います。

●ごみの散乱に対しては、臨時営業施設内にごみ箱を設け、購入していただいたお客様に対し、飲食後ごみを店頭まで持ってきてもらうように案内することでごみの散乱を抑制できると考えられます。また臨時営業メンバーが定期的に見回り、ごみを回収することも一つの対策案として挙げられます。

●注文してからの待ち時間において、ちょっとした会話ができ、来園者との交流する良いキッカケができました。また飲物に比べ、かき氷の売れ行きが好調でした。

●管理棟周辺においては今まで白馬さんがかき氷を販売していたこともあり、かき氷の販売を知っていてかき氷をお求めになるお客様（リピーター）が数名いました。利用者側の視点として、中部公園内で飲食の提供の場所が決まっているのも良いのではないかと思います。

●この時期は、昼間の気温が比較的高くなる時期であり、昼食時に中部公園に訪れる人は少ないイメージでした。10時頃の来園者は多く、12頃に来園者が減り、14時以降にまた来園者が増えるという傾向でした。

## 5 ご利用者様アンケートの傾向

### 1) 6月10日、11日実施分

アンケート結果は、ご購入いただいた商品に対して「とても満足」といった回答、スタッフの接客・対応に対して「とても満足」といった回答のように、多くの方にご支持いただいた内容でした。一方で、「(かき氷に関し)量がもう少しあればいいなと思います。」や、「メニューの看板ボードが1ヶ所ではなく四方から大きく見ると何があるかちょっと遠くからでもわかりやすいし、購入しやすいかなと思います。」とのご指摘があり、今後の改善ポイントでした。

### 2) 7月2日実施分

アンケート結果から、アンケートにご協力いただいた方の多くは、住まいが三重県（東員町以外）でした。「②ご利用いただいたキッカケ」については、全員が「かき氷が欲しかったから」との回答でした。ご購入いただいた商品に対して「とても満足」といった回答、スタッフの接客・対応に対して「とても満足」といった回答のように、多くの方にご支持いただいた内容でした。また「(かき氷に関し)ほどほどの量でよかったです。」や、「暑い日に公園でかき氷が食べられうれしいです。」などの感想がありました。

## 6 事業実施後の感想と今後の展望

今回の事業実施後のメンバーの感想は次のようなことをことが挙げられました。(一部抜粋)

- とにかく楽しかった。
- ノウハウが蓄積されスキルアップした。
- お客様の「美味しい！」との感想が嬉しかった。
- 今までの苦勞が報われる内容だった。
- 当初描いていた「アイスコーヒーを飲みながら遊具で遊ぶ子を見守る親御さん」を見ることができて良かった。
- やってみて色々気づくことがあった。
- 細かい課題はあったが「やればできる」ということが証明できた。
- 大きなトラブル、クレームもなくて良かった。

一方、細かい手法による課題や今後の展望に対する課題も出てきました。(一部抜粋)

- 「こんにちは wa cafe」の存在感が薄く、気づかれにくかった。案内、呼び込み、伝達の工夫が必要と感じた。
- カフェを出し続けることが大切(目標)
- 今回の売り上げは白馬さん、八嶋酒店さんの分け前にすぎなかった。若者会議のオリジナリティがあるものを販売し、「分け前」以上に「取り分」を得ていくことが大切。
- 現時点でのメニューでは我々若者会議のオリジナリティが不足しているのでは。

今回は、はじめの一步の事業ということで、小さな取り組みとして進めましたが、実現には想像以上の苦勞がありました。

しかしメンバーがお互い助け合い、結果「楽しかった」という感想が得られたことは大きな収穫であったと思います。

この「楽しい」という感覚がみんなの原動力であり、これをなくして活動の実現は難しいと考えます。今後も試行錯誤しながら取り組みを進めたいと考えます。

また中部公園は個々（家族など）が楽しむための施設として魅力的ではありますが、ここに「交流」という機能が加われば、さらなる魅力アップにつながると思います。

今回の「こんにちは wa cafe」でも「注文してからの待ち時間において、ちょっとした会話ができ、来園者との交流する良いキッカケができました。」という傾向がありました。観光振興会の「TOINマルシェ」も同様の効果があると思います。中部公園を活用し、こうした交流機会の創出は大切であると考えます。